

ローズパッド19~20年秋冬

靴のオリジナルライン開始

カジュアルなスタイルをモードに

ローズパッドは19~20年秋冬向けで、靴のオリジナルラインを始め
る。ローズパッドが得意とするカジュアルなスタイルをモードに仕上
げるデザインの靴を揃える。日本人の足に合った木型で作り、インソ
ールにクッションを使うなど、履き心地も良くした。カッティングにも
こだわった。

スクエアトゥやアシメ
トリーなどモードに



花柄に今秋
冬らしいア
ニマル柄が
ポイントと
なる。レパ
ード総柄の
ドレスは、
裾を柄のピ
ッチを変え
た生地で切
り替えている。

8月に第1弾としてヒールサンダル4型を販売する。甲をVに切り込んだパンプスは、横から見ると甲がきれいなウェーブを描く。丸いチャンキーヒールもキャッチーだ。1万6000円。色柄はパイソンやクロコの型押し、白、深緑など。第2弾は10月末頃に発売し、ショートブーツも出す。

「おしゃれの足しになる靴を作りたいと思った。デニムスタイルでも、足元をヒールにするだけでぐっと女性らしく洗練される。一日中楽しめるように、快適な履き心地も欠かせない」と企画した寺嶋京子商品部バイヤー。靴はオリジナル「ミチ」の秋冬のルックにも使い、相乗効果を狙う。

◇

オリジナルのウェアは定番や今春夏の売れ筋をアップデートした。色柄で程よくトレンドを押さえる。

「ローズパッド」はチェックや

り替えている。透け感のあるパイソンのブラウスも今季らしい。アイテムは春夏に引き続き、ドレス

ウェアは花柄やチェック、アニマル柄がポイント(ローズパッド)



やスカートを推す。トレンチ風のシャツドレスは、肩にストラップを付けてワンショルダーとしても着られる。スカートは異なる柄の組み合わせや、プリーツを切り替えたものなど。

ミチはケーブル編みの柄のカットソーとトップとスカートのセットアップが新鮮。トップはパッチワークのようにして、柄の向きやネックライン、裾の長さに変化を出している。デビューシーズンの18

年春夏から定番で出しているメルトンのコートは初めてフード付きを出す。

「クレオラム」は春夏にヒットした裏表にしたようなシャツドレスを秋冬はトレンチコートで出す。2万8000円。

「ジーンヘブンス」は投入時期の7、8月から着られる、さらっとしたシースルーのロングアウター、ミリタリージャケットをドッキングしたようなシャツドレスなどを作り、肩の力を抜いたスタイルを見せる。